

会 議 録

会議の名称	(仮称) 那珂川市総合運動公園 第3回後野区地元説明会		
開催日時	平成30年12月15日(土) 19:00~19:45	開催場所	中央公民館 講堂
出席者	1. 後野区民等 27人 2. 執行部 教育部 三浦部長 運動公園整備推進室 後藤室長、眞鍋(翔)、山口係長、中村(清)、山元 建設課 上溝課長 都市計画課 鶴田係長 産業課 藤野(尊)係長 文化振興課 佐藤補佐		
配布資料	別添のとおり		
内容	<p>1. 教育部長あいさつ</p> <p>2. (仮称) 那珂川市総合運動公園整備事業について ①公聴会等における意見内容について ②経過報告について ③今後のスケジュールについて</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>参加者：再度確認するが、後野区は皆さんの了解を得ていると思うが、道善区や恵子区の皆さんで計画地内に土地を持ってある方の了解はとってあるか。</p> <p>市：後野区をはじめ、恵子区や道善区への説明も行っている。現在、地権者にもお会いしているところである。事業の説明については、概ね了解をいただいているところである。</p> <p>参加者：それに対して、皆さんは一応賛成の方か、反対の方か、どちらか。</p> <p>市：用地の方で、用地の境界や建物の調査をさせていただいているが、道善、恵子の方につきましても、前向きに検討させていただいている。</p> <p>参加者：要するに、みなさん方の説明は前もって説明してくれればいいが、その日その日限りの説明ではみなさん納得しない。これっていうのは大きな仕事であるから、市にとっても私たち生活者にとっても。だから、皆が完全に納得して、何でもかんでも始めている。工事は始まると思う。それをちゃんとやってもらいたいということである。基礎を必ず踏んで、みんなに説明していただいて、みんなが納得してから工事を始めていただきたい。それが私の意見</p>		

である。

市：了解した。今後も、用地のご相談等についてはしっかりとお話をさせていただきまして、ご理解を得るよう努力する。

参加者：それから、もうひとつ。まわりで工事が始まった場合の騒音対策、埃の対処等をきちんとして欲しい。そして、地下のボーリングをされた場合は、みなさん周りで地下水を使って生活をされている。その補償は必ずあるのか。それも検討して欲しい。一番大事なことである。生活するときに水が無くなった場合に水道工事もしなければならない。それをどういう風な状態で水道工事をするのか、水路を引くかひかないかの検討もしてもらってから説明して欲しい。

市：了解した。他にないか。

参加者：今意見が出たように、皆さんにとって井戸水の事を一番に心配されていると思う。先ほど後藤（室長）さんは井戸水の調査について、工事前、工事後、工事中も、水位や水質の調査をして迅速に対応していくという返答をいただいているが、こちらの返答は11月末に私も頂いたが、この返答が出るまで1年かかっている。さらりと返答していただいたが。みなさんにそういう説明をしていただいたが、それまでのやりとり、こちら住民側から何回も訴えて、最初は覚えていないかもしれないが、第2回の住民説明会の時に、行政側は申し出た世帯だけに調査をすると言われた。そういう不誠実な対応があると、皆さん水は生活で使っている、うちも使っている。やはり不安になる。最初から今日後藤（室長）さんが言ってくれたような回答をスムーズにみなさんに話していただければ、みなさん安心すると思う。どうして1年もこの回答が出るまでにかかったのか。今後も迅速に対応してもらえるのか、不安を感じる。なぜ、このような回答が出るまで1年もかかったのか。

市：今のご質問であるが、私どもこれまで非常に対応が遅かったということについては反省するところである。先ほどのご意見にもございましたように、きちんとした説明を行うということにつきましては、これからは市の関係部署との連携をとって、回答を差上げたい。また、説明についても、その検討内容をきちんとお話しできるように、迅速に対応していきたいと考えている。これまで非常に対応が遅かったということについては反省する。大変申し訳ない。

参加者：質問が違う。なぜ、回答に1年もかかったのかと聞いている。謝罪はいい。何回も質問しているし、陳情書も出して質問しているし、都市計画の意見書にも井戸水のことを書いている。6回くらい働きかけて、やっとこの回答があった。今日初めて聞いた方は、市側はちゃんと住民の事を考えてこういう回答を出してくれたんだと思われるかもしれないが、その間に、この1年に、こちらは6回も市側に働きかけて今日、回答を得ている。1年がかりで。なぜ

そんなに回答に時間がかかるのかということについて私は質問している。それについての回答をいただけないか。

市：第2回目の説明会の時に、井戸水の関係につきましては、関係するところということで説明したというところがある。しかし、その後も検討を行い、現在のような回答になったというところである。私ども、その回答が遅れたことについては、非常に反省するところである。1年かかったということについては、私どもも回答をきちんと検討した上でやらなければならないということを考えていたため、遅くなったことについては重ねてお詫び申し上げます。

参加者：違う。今の答えにたどり着くのに1年かかった。最初は申し出た人にだけすると言ったり、今度は、関係者はすると言って、その後、工事の前、工事の後ではなくて工事中にするとか、そういうやりとりがなぜこんなに1年も、こちらから何回も投げかけないとそちらは住民側の考えに沿ってこういう回答を出してもらえないのかと聞いている。1年もなぜこんなにかかるのか。

市：これまで、ご意見をいただいた方には個別に回答を差し上げている。公式の場で区の皆さまにお話をさせていただいたのは本日であるため、それにつきましては、個別には行ったが、今回正式に皆さま方にこれまでのご意見の整理を致しまして、ご報告申し上げたところである。

参加者：答えになっていないが、いい。今後は、迅速に対応をすると何回もおっしゃっているが、すべてにおいて迅速ではないと思う。住民側に立って考えてもらったら、水の事とかはすぐに迅速に対応しなければならないと思ったら、1年もかかる回答ではないと思う。今日、みなさんに発表した回答は。こちらから何度も質問を投げかけて、どうしてこういう風になるんですかと度々言われないとこの回答が出ないと、今後もとても本当に迅速な対応をしてもらえるか住民側としてはとても不安に感じるため、そこはちゃんと考えて迅速な対応をお願いします。

市：了解した。他にないか。

参加者：後野地区の運動公園を建設する土地に関して、地権者の方、皆すべて合意しているのか。

市：現在、地権者の皆さまにはご理解を得るべくまわっているところである。

参加者：すべて合意しているということではないということでもいいか。

市：まだ正式に用地のご相談に入っていない。税務署協議等を行った上で正式に用地のご相談に入ってくため、現在は事業の説明ということで地権者の皆さま方に回っているところである。

参加者：合意が無くても、こういう計画は立てられるのか。

市：すべての公共事業であったり、色々な部分においては、地権者の皆さま方のお話というのは当然、ご理解をいただくべくお話をさせていただいていくところである。合意が無いというところで計画を立てるということは、市といたしましても公共的な公園であるとかいろいろな部分については計画案が

無いとどうしようもない。そういう計画を立てて、そして用地のご相談をお願いして、ご理解を得ていくということになる。

参加者：了解した。次に、今後のスケジュールのところで質問があるが、基本・実施設計というのはどういったことをするのか。

市：現在計画の原案ができています。これはあくまで想定されるスポーツの施設であるとか、また、公園の内容を記している。それを具体化していくための設計ということで考えていただければと思う。

参加者：基本設計と実施設計の違いがわからないが、どう違うのか。

市：基本設計については、この公園について大まかな、基本的な設計を組んでいく。その中で事業費等も出していく。実施設計は、詳細な仕様について設計を組んでいくことになる。

参加者：了解した。住民の意見を伺うためにワークショップを開かれるということを知ったが、ワークショップとはどのようなものか。

市：ワークショップというのは、皆さま方のご意見を伺う手法のひとつである。そういったワークショップや色々な手法を用いて、皆さま方の意見を取り入れながら、より良いものをつくっていきたいと考えている。

参加者：対象は、住民全体になるのか。

市：現在、ワークショップなのか、それとも色々なご意見をいただく手法なのか、これから検討をしていくところである。その検討についてきちんと明確にした時点で、皆さま方にご説明申し上げたいと思う。

参加者：時期は平成 32 年と聞いているが、先ほど聞いたスケジュールの中で、基本・実施設計というのを照らし合わせると、平成 32 年ということは、実施設計にあたると思うが、そうではなくて大まかな設計をする段階でワークショップをやっていく必要があるのではないかなと思うが、どうか。

市：ご意見は承る。ワークショップなど、皆さんのご意見をどのように取り入れていくかということについては、しっかりと考えてやっていききたいと思う。

参加者：31 年にも、何か意見を取り入れる会を開くということか。

市：検討をまだしていないため、しっかりと検討して皆さま方にお知らせしたいと考えている。

参加者：那珂川大野城線、県道 580 号線、現人橋の交差点のところ、あそこがまっすぐになるのはいつ頃になるか。

市：その分については、現人橋・乙金線とあって、現人橋から東側に進んでいく道であるが、今現在用地の協議中であり、具体的な開通の目途については正確には決まっていない。

参加者：いつ頃開通の目途というのも立っていないのか。

市：まだ、具体的な目標というのも定まっていない。

参加者：了解した。

市：他にないか。

参加者：公園の入り口については、駐車場を2箇所設けて、出入口も2箇所なのかと思ったが、1箇所にするという聞いた。出入口は1箇所にするのか。

市：基本計画の中では、何か所か想定している。この想定については、今後出入口について考えていきたい。ただ、メインとなる入口については、市民体育館側の道路から入っていくような形で、現段階では考えている。

参加者：またはっきりしたら知らせるとのことか。まだ全然はっきりしないということか。

市：これから設計を組んでいく時にはしっかりと決めていくため、その都度皆さま方へご説明等を行いたいと考えている。

参加者：了解した。

市：それでは、他にないようでしたら、これで終了したいと思う。